

お元気ですか



北海道議会議員 笠木かおる通信

道政事務所

旭川市5条通13丁目右2号
TEL.27-0300 FAX.27-0302

とんぼ舞う、秋風情

空は晴れ、秋の遊び声が聞こえてきます。豊穡の秋をいかがお過ごしでしょうか。かおる通信91号をお届けします。ご一読賜れば幸いです。

北海道議会議員 **笠木かおる**



10月2日に閉会した第3回定例道議会。終わってみれば、暑さはすでに天高く遠のいていました。

自分は、予算特別委員会で9月25日、28日、29日の3日間、連続して質問の機会をいただき、理事者からも一定の「前向き答弁」がありました。

「今日という日は、誰もが素人」と自分に言い聞かせ、これからも毎日を大切に、頑張っまいます。(質問要旨は裏面に掲載)



1期生議員全員が来旭。



道議会・民主道民連合の沖田清志政審会長と1期生議員会の全員が10月5日、6日の両日、旭川市を訪れました。

西神楽の北の森づくり専門学院や林産試験場、緑が丘の北海道立総合研究機構を視察。道立の研究施設や試験施設、教育機関と民間が連携して一大研究都市に成長させる、そんな基盤と財産がある旭川です。

旭川ブロック代表に就任

新しい立憲民主党の旭川ブロック結党大会が10月3日、旭川市内で開かれ、代表に選出されました。一つの大きな塊となるように、寛容さをもって党運営にあたってまいります。



「かおるポスター」お願い

政治活動用の「笠木かおるポスター」の掲示をすすめています。ご協力いただける方のご一報をお待ちしています。(写真/山川博千後援会長宅前で)



【近況】長女の長男、太志くん(高1)は朝早く自転車高校へ。次男、匡志くん(中2)も期待のサッカー少年。長女、ひなたちゃん(小4)の肩もみに癒されています。次女の長男、レオンくん(3歳)は毎日、元気に保育園です。みんな、がんばっています。

核のゴミに思う



後志管内の寿都町と神恵内村が、高レベル核廃棄物最終処分場の文献調査に応募しました。この動きに対し道議会は10月2日、「冷静な議論が行われることを求める」との決議を採択しています。

北海道は、「放射性廃棄物の持ち込みは受け入れがたい」と、条例で宣言した全国唯一の都道府県。鈴木直道知事も、文献調査について、「相容れない」と、調査の反対を表明しています。

核のゴミが消滅するまで10万年の歳月が必要とのこと。綺麗な大地を未来に引き継ぐため、秋の空を拝み、慎重な再考を願っています。

ウポポイがオープン

7月30日、白老町に開設した民族共生象徴空間・ウポポイを視察しました。国立アイヌ民族博物館や広々とした共生公園が整備されています。ウポポイとはアイヌ語で「おおぜいで歌うこと」。是非とも足をお運びください。



植樹

旭川ユネスコ協会の一員として7月27日、台場小学校「小鳥の村」にナナカマドを植樹しました。「小鳥も子供も住みよい台場」、そんな思いをしながらの植樹でした。

毎週土曜日、1条買物公園で土曜街宣を継続しています。北海道や旭川の課題を少しでもわかり易く伝えたいと努力中。中々難しいものです。



義援米



9月12日、高見一典旭川市議会議員の水田で義援米の刈り取りが行われました。収穫されたお米は、港に運ばれ船でアフリカのリマに贈られます。食糧難の子供たちが、笑顔で喜ぶ姿を想像しました。

ライオンズクラブ

所属する旭川ライオンズクラブ。自分が生まれた年と同じ、昭和32年に設立。63年が経ちます。

8月29日、1500回目の記念例会が雄武町・日の出岬でありました。自分のできる範囲で奉仕活動に励んでいます。

笠木かおる道政事務所



平日の9時から16時まで開設しています。村上陽一所長と笠木香菜さんが常駐。お気軽にお立ち寄りください。

大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。

予算特別委員会で質問にたつ



第3回定例道議会の予算特別委員会で3日連続、質問の機会をいただきました。その要旨を報告いたします。(文責・笠木)

◇ウポポイ

- (笠木) ウポポイが順調に船出したが、将来にわたっての課題は何か。
- (答弁) 多彩な展示の工夫やプログラムの充実。上川や日高など、アイヌ文化の振興に取り組む他地域との連携が重要だ。
- (笠木) 運営にあたって、国と道、アイヌ民族文化財団との連携の仕組みが不十分ではないか。
- (答弁) 国やアイヌ民族文化財団と、運営協議会などの設置について相談していく。

【解説】国は今年度、約67億円、道は約10億円を投入して、ウポポイの運営やプロモーション事業をすすめています。

運営委託はアイヌ民族文化財団に、その他の事業は随意契約で多くが大手企業に発注しています。事業の透明化や有効な事業展開のため、関係者間のより連携が必要との立場で、運営協議会の設置等を求めています。



◇ほっかいどう応援団会議

- (笠木) 応援団会議に入らなくとも様々な個人や団体、企業が北海道を応援している。そのことを大切にすべきだ。新卒者の就職支援などの応援要請、市町村への応援などに特化して、具体的な応援を獲得すべきでないか。
- (答弁) 道や市町村が抱える課題をわかり易く情報発信し、より具体的な応援の獲得に向け取り組んでいく。



◇市町村財政への支援

- (笠木) 厳しい市町村財政に向き合い、道は「市町村財政の相談役」としての役割を發揮すべきだ。
- (答弁) 市町村へのきめ細かな助言や相談対応、国への要望活動など、道として、これまで以上に役割を果たして参る。



◇ふるさと納税

- (笠木) 好調な「ふるさと納税」だが、市町村によって、寄付金額に大きな格差が生じている。寄付金獲得に苦慮している市町村への対応は。
- (答弁) 「ふるさと納税」の取り組み状況を分析し、179市町村の底上げを図る取り組みをすすめる。



◇鉄道の維持

- (笠木) JR北海道の鉄道維持に向けての新たな法整備は山場を迎えている。オール北海道で今後、具体的に何をなすのか。
- (答弁) 沿線のみならず全道の市町村や経済界と検討し、道外でのPR活動など、様々な取り組みを展開していく。



◇文書管理と押印

- (笠木) 道の文書管理規程では、重要な打合せ等は「記録を文書で残す」ことが明記されているが、非常にあいまいな規程だ。文書管理の一定のルールや基準が必要だ。
- (答弁) 事業の意思決定過程を合理的に跡付けできるよう、文書管理制度の点検・見直しに努める。
- (笠木) 行政手続きでの押印廃止が進んでいるが、道の認識は。
- (答弁) 事務の効率化や道民サービスの向上に繋がることから、年内を目途に、押印見直しの考え方を取りまとめる。

共生園

「毎日が敬老の日」、「毎日が障害者の日」、そんな思いの総合福祉施設・共生園。しかし、今年はコロナ禍の影響により、面会制限などの不自由な運営が続いています。利用者のご家族は、オンラインによる面会。今年は、好評の共生園まつりも中止となりました。一刻も早く、普通の暮らしができるように祈るばかりです。



訪問活動

札幌と旭川を行ったり来たりの毎日が続きます。定例会開会中は、ほとんど札幌の宿泊泊り。旭川市議会議員の時よりも旭川での時間は少なくなりましたが地域を歩くことが自分流の活動の基本。時間ほど大切なものはないと思う最近です。

大地を踏みしめパークゴルフ

今シーズンは、多くのパークゴルフ大会に参加することができました。所属する永山PG愛好会(渡邊佳則会長)、共生PG愛好会(南和弘会長)、NTT労組退職者の会(角柳亘会長)、道北バス高退協(千葉正人会長)、旭商同窓会PG大会(林輝行会長)など。ベストスコアは旭商同窓会大会での101。来シーズンの目標は100を切ること。引き続き、パークゴルフの振興にがんばります。



下公有地

9月5日、下公有地開拓顕彰会(滝川輝男会長)の慰霊祭が斎行されました。芦原旭川宮司の祝詞奏上のもと、134年前からの先人の労苦を偲び玉ぐしを捧げました。

フリーマーケット

9月27日、東光団地集会所で開かれたフリーマーケット(主催者・新村広美さん)にご案内をいただきました。会場は、ほのぼの感が満開。物は使える限り大切にすること、親に教えられたことがよみがえります。フリーマーケットを応援しようと思う一幕でした。



8月18日、旭川に駐屯する陸上自衛隊第2師団の行事にご案内をいただきました。郷土の防衛とともに、市町村の行事等への協力も惜しまない同師団。隊員一人一人によって作られる凛とした空気は、なかなかのものでした。

文化の香りを楽しみました。



旭正写真愛好会 (7/12)



中田國守・石垣廣二人展 (10/9)